



## 2020年度 木曽地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2020年10月20日(火) 14:00～15:30

[場所] 木曽森野センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
木曽地区町内会・自治会連合会 会長 竹島 正

#### ○連合会長の挨拶

木曽地区町内会・自治会連合会 会長 竹島 正

#### ○市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

#### ○職員の紹介

#### ○市政懇談会について

#### 第1部 地域からの議題に関する意見交換

1 路線バス停留場について

【都市づくり部】

2 カーブミラー設置について

【道路部】

3 新型コロナウイルス感染者情報の情報発信について

【保健所】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

#### ○閉会の挨拶

閉会挨拶 木曽地区町内会・自治会連合会 副会長 大橋 誠治

2020年度 木曾地区町内会自治会連合会 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2020年10月20日(火) 14:00～15:30

[場 所] 木曾森野コミュニティセンター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一  
都市づくり部長 萩野 功一  
道路部長 神蔵 重徳  
保健所長 河合 江美  
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫  
木曾地区町内会自治会連合会長 ほか17名  
事務局 市民部市民協働推進課 5名  
市民部忠生市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長  
木曾地区町内会・自治会連合会会長

- 木曾地区町内会・自治会連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

## 第1部 地域の議題に関する意見交換

### 1 路線バス停留場について

市民病院前バス停（「OKストア」向かい側）は、市民病院に行く方や病院からお帰りになる方の乗り降りが多く、バスの乗り降りに時間がかかります。そのために渋滞が起こっています。この場所は、変則的な交差点になっています。バス停留場を薬屋さん駐車場側に広くして、一般車がスムーズに通行出来るようにご尽力をお願いします。また、市民病院前バス停（「いきなりステーキ」側）の所も、市民病院からお帰りのお客様でバスに乗り込みに時間がかかります。ステーキ屋さんのところも駐車場側に広くしていただくよう、ご尽力をお願いします。

### 【回答】

都市づくり部長

バス停留所を歩道側に広げて整備する場合、歩道に切り込みを入れて、後方からの車が円滑に通行できるよう、「バスベイ」を設置することとなります。「バスベイ」は、大型バスがバス停から離れずにぴったりと停車できるよう、長さは約30メートル、幅は約2.5～3メートルの用地が必要です。ご要望のバス停のうち、「OKストア」向かい側の薬局の前につきましても、薬局の敷地の両側に道路があり、交差点の間隔が約15メートルしかございません。また、「いきなりステーキ」側につきましても、交差点の間隔は問題ありませんが、周辺に車の出入口が短い間隔で設置されております。したがって、両バス停ともに、安全上「バスベイ」を設置することは難しいと考えております。なお、このバス通りは東京都が管理する都道となりますので、今回いただきましたご要望の内容については、道路を所管する東京都建設局南多摩東部建設事務所にお伝えしてまいります。

## 《質疑》

### 木曽親和会

OKストア前のバス停は、場所を移動することは考えられないか。

### 都市づくり部長

バス停は真向いには作れず、最低30m離す必要があります。この場所は、道路や駐車場の出入口が多くあるため、安全上、バス停を動かすのは難しいと考えます。

### 住宅公社境川団地自治会

薬屋の横の道路は対面通行可能だったと思うが、一方通行にして車の流れを円滑にすることはできないか。

### 都市づくり部長

対面通行の道路を一方通行にするには、近隣の方の了解を全て得たうえで市から警察に話をすることになります。意見がまとまれば一方通行もあり得ますが、もともとある道路ですので、今の段階ではハードルが高いと考えます。

### 住宅供給公社木曽団地自治会

込み入った旧街道をどうするか考えるのではなく、バス路線を現町田街道の市民病院側に変更することは考えられないか。市民病院利用者の乗降に時間がかかっていると思います。

### 都市づくり部長

議題のバス停がある栄通りの交通緩和が必要だと考えます。町田街道方面を

通るバスは少ない状況にあり、バス路線の再編を考えると、都道が本町田小学校から市民病院の間で工事を行っています。この新しい道路の開通などの機会をにらみながら、町田街道方面のバス路線導入と栄通りの交通緩和を考えていきたいと思えます。利用者が不便にならないようにバス事業者と調整をしていきます。

#### 木曾中央町内会

例えば、上りと下りのバス停を逆にすることはできないでしょうか。

#### 都市づくり部長

バス停を新たに設置するときは基準がありまして、バス停の間隔や交差点から30m離すなどの条件があります。この場合、過去に作られた経緯があるため現在の基準を満たせていません。新しく設置するにはハードルが高い印象があります。ご提案いただいた内容については参考にさせていただきます。

## 2 カーブミラー設置について

写真の危険箇所について、4年前にカーブミラー設置を要望しました。市の交通安全課に現場確認してもらい、ミラーは取り付けられないとのことで、停止線を二段構えで引いてもらいました。今年になって、市議から「あの場所にカーブミラーが付くようになりました」との連絡があった矢先、数日後に自転車と自動車の接触事故がありました。事故後何をするかと思っていたら、結局停止線は元の見にくい場所に戻り、自転車も一時停止の看板を取り付けただけで、カーブミラーは取り付けませんでした。他地区の例では、民家の土地の中にカーブミラーのポールを立てている場所があると聞きます。どのような基準で、カーブミラーは設置されるのでしょうか。この場所の抜本的な安全対策を望みます。

### 【回答】

#### 道路部長

町田市道路反射鏡設置基準に基づき現地調査を行い、通行上の見通しに支障があるかを判断し、カーブミラーを設置しております。市民いこいの広場から来る一時停止側の道路は、幅員が6mと広く、隅切りもあることから、運転者は目視での安全確認が可能であると考えられます。また、カーブミラーを設置した場合、その鏡面に映る風景を過信した運転者がスピードを出して交差点に進入するといった、不十分な安全確認を助長する可能性があります。なお、カーブミラーには死角があります。特に、通学路を通る児童がカーブミラーの鏡面に映り込まないこともあり、運転者に児童がいないものと誤認させる危険性

があることから、目視での安全確認が可能な場所には、カーブミラーを設置しないこととしております。当該場所にはこれまで安全対策として、ドットライン、滑り止め舗装、交差点のT字マーク、注意看板の設置等を実施しておりますが、更なる安全対策として、一時停止をより強調し運転者が交差点直前にて停止し、安全確認を行うよう注意するために、「一時停止」の文言を記載した電柱幕1枚を一時停止側の道路に増設いたします。

## 《質疑》

### 木曾親和会

4年前に白線の点線を引いてもらいましたが、薄くなり消えそうです。過去にT字路の正面の家が事故防止のためにミラーをつけようとしたが、地元町内会と合意が取れなかったことがあります。それが原因ではないか。

### 道路部長

町内会との合意が問題ではなく、カーブミラーは付ける場所、角度の調整をどんなに行っても死角がでてきます。今回の場所は道路の幅員、隅切りもあり、運転者が目視できる環境であります。カーブミラーに頼るのではなく、電柱幕等での注意喚起を行ってまいります。4年前に引いた点線については確認し、必要であれば引き直しを行います。

### 木曾親和会

右側には電柱があり、左側には樁の木があり非常に見づらい。正面への設置は難しいと思うので、左側にカーブミラーを設置できれば安全になると思う。

### 住宅供給公社木曾団地自治会

カーブミラーに死角がうまれるということであれば、一ヶ所に複数のミラーを設置する等ができないか。

### 住宅公社境川団地自治会

カーブミラーが難しいのであれば、別の方法で事故が起こらないように対策を講じてもらいたい。

### 木曾南自治会

これからの車は、見通しが悪いところで何かがでてくると自動で止まる機能のついたものが普及していくと思う。海外ではミラーがなく学校の前とかは、地面を盛り上げて、強制的に速度を落とすことをしている。

### 住宅供給公社木曾団地自治会

地面にでっぱりを作ると住宅密集地ですと音の問題があることを聞いていますが、緩やかなでっぱりを作るやり方もあると思います。

## 道路部長

ミラーの数を増やしていくと、どのミラーがどこを見るものなのかドライバーが認知するのに時間がかかると思いますが、参考とさせていただきます。

また、地面に盛り上がりをつけたり、クランクにしたりとありますが、盛り上がりは音、振動がありますので、近隣のご理解が必要です。交通量が多いところだと、家が揺れるなどの問題が生じたこともあるため、現在市では設置しておりません。他には、横断歩道を立体的に見えるようにする等の方法もあります。目的は速度を落とすことです。また、事故を防ぐには自転車に乗る方にも意識をしていただく必要がありますので、注意喚起をしていきたいと思えます。

## 3 新型コロナウイルス感染者情報の情報発信について

我々が町田市の地域情報を知るうえで、その多くは、町田市ホームページに依存しています。コロナ情報もしかりです。新型コロナに関する町田市の情報を、ホームページで見ってみました。そこには、①感染者の陽性判明数と累計、②PCR検査件数、③年代別感染者数と男女別数値、④感染経路の4項目が記載してありました。これを見て感じたことは、ただ無機質な数字が並んでいるだけという印象でした。深刻な状況になりつつあるコロナ禍で、もっと市民に対して深刻な状況としての伝え方があるのではないかと思いました。そこで他の区・市の発表を調べたところ、隣接する川崎市のホームページに目が留まりました。川崎市では、感染者全員に通し番号が付けられ、年代・性別や居住地、職業、感染が発覚した経緯、行動歴にいたるまで、詳細が掲載されています。町田市と川崎市の情報公開が、なぜこれほどまで大きく違っているのか、理由を知りたいです。対策意識、危機感の向上のため、ぜひこういった細やかな情報発信を町田市でもお願いしたいと思えます。

## 【回答】

### 保健所長

町田市では、東京都と連携して新型コロナウイルス感染症対策を進めており、情報公開についても都の方針に基づいて、市区町村単位での、感染者の個別の公表は行っておりません。感染者一人ひとりの年代や性別、職業、経過や家族構成など、様々な口コミ情報などと合わせることで、感染者個人が推定できるような個別の情報の公表は、感染者やその家族の人権尊重・個人情報保護の観点から差し控えるべきと考えております。一方で、町田市の感染者の傾向

を情報発信する意味で、感染者全体の年代別、男女別、感染経路、入退院の状況などを、ホームページに掲載しております。さらに、市民に影響が大きい施設などで患者が発生し、疫学調査の結果、感染拡大の防止対策をとる必要があるなど、公表することが公益上必要な場合には公表を行うこととしています。

## 《質疑》

### 住宅公社境川団地自治会

厚労省の「新型コロナウイルス感染症が発生した場合における情報の公表について」というガイドラインがあります。そこでは、「一類感染症が国内で発生した場合における情報の公表に係る基本方針」というのがあり、公表の目的は「感染症のまん延を防止し、感染症による健康リスクが個人や社会に与える影響を最小限にするためには、感染症の発生状況等に関する情報を積極的に公表する必要がある。なお、当該情報の公表に当たっては、感染者等に対して不当な差別及び偏見が生じないように、個人情報保護に留意しなければならない。」となっています。また、公表する基本的な情報としては「感染症の種類によってその特徴が異なることから、病原体の潜伏期間や感染経路、主な感染源等、当該感染症に関する基本的な情報を提供する。これらの情報を発信することにより、当該感染症をまん延させないための適切な行動等を個人がとれるようにする」となっています。東京都の指針で動いているということだが、国がこのように出しているのに、何故できないのか。川崎市は、ホームページに1700件以上の患者情報を細かく出しています。埼玉県も同様です。何故こんなに差があるのか。もっと知らせていかないと、対応のしようがないと思います。

### 保健所長

川崎市の個別の情報は東京都でも出していますが、市の単位で出すのは個人の特定につながる恐れがあり、患者さんやその家族に不利益を与える可能性があります。厚労省からの積極的に情報を公表すべきということについては、感染症の潜伏期、症状、注意点等の情報を公表することが市の役割であり、公表を行っています。国は当初、一類感染症の公表基準のなかで公表しない情報として患者さんの居住している区市町村を挙げていましたが、都では途中から市町村単位の累計を出すようにしました。町田市は保健所がありますので、市民の方の男女別、感染経路別の数字を出すことができます。保健所のない市ではこのような情報が出せずにいます。現在、保健所には多くの問い合わせが殺到しております。感染された方ひとりずつに職員が電話対応しながら、病状を聞き、主治医にも確認をし、安全安心に療養できる体制を整えつつ、感染経路の確認、ご家族への対応をしております。患者さんは感染したことを周囲に知られることを非常に心配されております。社会全体が病気の理解を深め、偏

見がなくなれば公表も進めることができると思いますが、まずは人権を第一に考えたいと思っています。

### 住宅公社境川団地自治会

川崎市が公表していることと、人権問題があることとは別と思っています。保健所職員の方が大変なことも理解できますが、正確な情報を知ることによって感染対策を取ることができますので、もう一步踏み込んだ情報公開をしていただきたいと思います。

### 木曽南自治会

誰が感染したか何人感染したかではなく、感染しても治るとか、どこの病院に行けばいいか等の情報がでていたことが大事だと思います。例えば、3月に感染した方が4月に治っていますだとか、そのような情報発信のやり方ができないか。自治会と一緒に乗り越えていけたらいいと思います。

### 住宅公社境川団地自治会

市のホームページには、各ページの下の方にご意見を入力することができます。意見のある方は是非そちらも活用していただければと思います。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

新型コロナウイルスの対応策について、いくつか報告をします。

一人10万円の臨時特別給付金。予算は432億円です。9月に締め切りましたが、まだ申請のない方に通知を出しているところです。同じ時期に子育て世帯臨時特別給付金をやりました。そのあとに、6月からひとり親のご家庭に臨時特別給付金を支給しました。これは、国の制度と市の制度になります。

さらに中小企業の方の家賃補助事業を5月と7月に行いました。合わせて予算が約15億円でした。市では売上が15%以上減った方を対象にしていました。実は国の制度もありましたが、こちらは5割以上の減額ということでハードルが高いのと手続きが大変でしたので、市の制度で早くできるものを行いました。

それから、市内の病院4か所に合計2億円の支援をしました。また、市民病院も収入が減少していて半期で7億円位の赤字ですので、とりあえず5億円を出しています。

それから、4月には町田市医師会の全面的な協力をいただき、多摩地域では1番目、都内だと8番目になりますが、旭町の体育館の地下駐車場にPCRの

地域外来検査センターを開設しました。今は、森野に引越して続けています。

それから、10万円の特別臨時給付金は4月28日以降に生まれた子は対象外でしたが、追加で来年の4月1日生まれまでは、対象となりました。

また、介護サービス事業者へは2億8千万円、障がい福祉サービス事業者には1800万円の支援を行いました。

それから、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業を12月から1月に行います。支払代金に対して20%プレミアムがつきます。会社はPayPayがやります。12億円を予算化しています。

それから、ふるさと納税の制度で寄付をいただいたものを医師会に1000万円、歯科医師会に500万円をお渡ししました。

一番大事なのは感染をどのように防ぐかだと思います。さきほどの件についてですが、町田市ではありませんが、感染が特定された人に対する差別がありました。情報元は口コミです。口コミを裏付ける情報があると確信に変わります。合理的な判断をする前提で議論はしていますが、そういうことがありますので公表する情報は、合理的であっても口コミとの組み合わせ等も考えると非常に難しい問題です。未知の病気であることが一番恐怖を生み出しますので、心理的な部分への配慮ができる情報を出していきたいと思います。こういう行動をすると特になるよといった情報の出し方、仕掛けを考えたい。治療の経過、日数等を出して、安心感を持っていただけるようにしたいと思います。

《質疑》なし

○閉会の挨拶

木曾地区町内会・自治会連合会 副会長